

サイエンス 20 (S20) の日本学術会議の主権について

日本学術会議会長
山極 壽一

来年 (2019 年) 6 月、日本で開催される、G20 サミットに科学的見地から政策提言を行うため、日本学術会議が議長アカデミーとなってサイエンス 20 (S20) を主催することとしたい。その旨、7 月下旬に予定されているアルゼンチンでのサイエンス 20 において宣言することとしたい。

開催にあたっては、第 1 回のドイツ、第 2 回のアルゼンチンの先例 (別紙参照) を踏まえ、フォーラム形式で行うこととし、今年度の「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議」と同じテーマで同日 (2019 年 3 月初旬予定) に開催することとする。

なお、その企画立案及び実施準備のため、国際委員会に分科会を新たに設置することとする。

(参考)

1. サイエンス 20 構成アカデミー等

フランス科学アカデミー、全米科学アカデミー、英国王立協会、ドイツ科学アカデミー・レオポルディーナ、日本学術会議、イタリア・リンツェイ国家アカデミー、カナダ王立協会、EU (European Commission)、アルゼンチン国立科学アカデミー、オーストラリア科学アカデミー、ブラジル科学アカデミー、中国科学院、インド国立科学アカデミー、インドネシア科学アカデミー、メキシコ科学アカデミー、韓国科学技術アカデミー、ロシア科学アカデミー、キングアブドゥルアジズ科学技術都市 (サウジアラビア)、南アフリカ科学アカデミー、トルコ科学アカデミー

2. 日本学術会議会則 (抜粋)

平成十七年十月二十四日
日本学術会議規則第三号

(国際活動)

第三条 学術会議は、法第六条の二に定める国際団体への加入のほか、法第三条第二号の職務として、次に掲げる国際活動を行うことができる。

五 その他会長が必要と認めるもの

サイエンス 20 開催先例（概要）

○第 1 回サイエンス 20 会議

主 催 ドイツ科学アカデミー・レオポルディーナ

日 時 2017 年 3 月 22 日

名 称 サイエンス 20 対話フォーラム 「世界の健康を改善する：伝染症及び非伝染性疾患と戦うための戦略と手段」

プログラム

午前 開会式

基調講演

セッション 1 「伝染症及び非伝染性疾患—現在の脅威と挑戦」

セッション 2 「伝染症及び非伝染性疾患への優れたアプローチ」

午後 セッション 3 「ハイレベルポリシーセッション」

- ・サイエンス 20 声明の発表

- ・議長国の科学アカデミー会長からメルケル首相への声明手交

- ・メルケル首相による基調講演

- ・ハイレベルパネルディスカッション

- ・次期サイエンス 20 主催アカデミー会長からのサイエンス 20 開催宣言

閉会式

○第 2 回サイエンス 20 会議

主 催 アルゼンチン国立科学アカデミー

日 時 2018 年 7 月 24 日及び 25 日

名 称 サイエンス 20 アルゼンチン 2018 「食糧・栄養に関する安全保障」

プログラム

1 日目

午前 開会式

セッション「食糧・栄養の安全保障についての分析」

午後 セッション「食糧と農業生産の将来への展望」

2 日目

午前 セッション「持続可能な土壌管理」

サイエンス 20 各国科学アカデミーによる共同声明に含まれる提言についての議論

正午 閉会式